

第6次富良野市総合計画中期基本計画の策定方針について

計画策定の趣旨

本市では、令和3年3月に、中長期的な展望を持ちつつ、少子高齢化や人口減少等の社会情勢の激しい変化に対応できる10年間を計画期間とした第6次富良野市総合計画を策定いたしました。この総合計画の基本構想では、本市の目指すべき将来像として『「美しい」のその先へWA!がまちふらの』をまちづくりのスローガンに定め、その実現に向け、総合的かつ計画的にまちづくりを進めてきたところです。

前期基本計画（令和3年度～4年度）については、令和4年度をもって終了することに伴い、本市の取り巻く社会情勢の変化や、新たな市民ニーズの変化に対応したまちづくりの新たな指針として、富良野市総合計画中期基本計画を策定するものです。

計画の名称

第6次富良野市総合計画中期基本計画

計画の期間

令和5年度（2023年度）を初年度とし、令和8年度（2026年度）を目標年次とした4か年計画とします。

基本構想との関連

基本構想に掲げた「まちづくりのスローガン」「まちづくりのメッセージ」「まちづくりのコンセプト」などの基本フレームは継続いたします。

中期基本計画の策定の考え方

前期基本計画については、計画期間が令和3年度～令和4年度の2年間と短期間の計画となっており、その根幹となる考え方については大きな変化がないことから、中期基本計画の策定に当たっては、前期基本計画の踏襲を基本として、KPIの見直しや政策のアップデートを図ります。

- ▶ 前期基本計画の現状の把握と課題を検証し、SDGsや新型コロナウイルス感染症への対応等、社会環境の変化や、多様化する新たな市民ニーズ等を的確に捉え、市政に反映できるよう、時代の変化に柔軟に対応できる計画を策定いたします。
- ▶ 人口ビジョンについては、令和2年度に人口動向分析及び将来人口推計の考察を実施し、また、2020年の国勢調査の結果を踏まえた社人研人口予測が2023年に公表を予定しているため、今回の計画では見直しはいたしません。住民基本台帳等のデータにより、人口の現状分析を実施し、計画との連動を図ります。
※人口ビジョン調査は、令和6年度に実施する予定です。
- ▶ 市民ニーズの把握については、前期基本計画の策定にあたり、100人協働ワークショップや市民意識調査、地域懇談会など、広く市民の声を収集しています。また、令和3年度に幸福度調査を実施していることから、中期計画の策定にあたっては、こうした市民の声を反映するとともに、各部署で把握している市民ニーズを反映させた計画を策定いたします。
- ▶ 各部署の個別計画とは、情報交換、情報共有を十分に行之、整合性を図ります。
- ▶ 少子高齢化の影響により、社会保障関係経費が増加する一方で、市税収入は大きく伸びず、財政の硬直化が進んでおり、今後も厳しい財政状況が続くと予想されます。こうした状況を改めて認識したうえで、将来における財政状況を十分に想定し、政策・施策の実現性及び事業の実効性を確保した計画を策定いたします。